

- 1 , 「トリコンチネンタル(三大陸)」誌「米国と新冷戦:その社会主義的評価①」  
キューバに本拠を置く国際的な左派ウェブ・マガジン「トリコンチネンタル(三大陸)」誌に掲載された論文集の翻訳です。著名な国際ジャーナリストが現代世界の危機の核心をつく3つの論文の紹介をしています。
- 2 , ジョン・B・フォスター「21世紀のエコロジーと平和運動のために」  
「米国と新冷戦」の第一論文。「核戦争の危機」を取り上げています。アメリカのマルクス主義雑誌「マンスリー・レビュー」5月号に掲載されました。
- 3 , 国際危機グループ「国連で確認されたウクライナの主権と領土保全」  
国連総会が10月12日に採択した、ロシアによるウクライナ「4州併合」無効決議。143カ国の圧倒的多数で採択された意義と背景を分析しています
- 4 , 「三大陸」誌「地平線のかなたに非同盟と平和がみえる」  
同じ「トリコンチネンタル」誌が「南の世界」の論客を集めて、非同盟の路線の展望を論じています。そのシリーズの第一回。
- 5 , ジェレミー・コービン「今こそ平和を語る時だ」  
英国の前労働党首が、ウクライナ戦争の即時停戦とロシア軍の撤退、交渉解決を訴えています。
- 6、 N・フレラ「南の世界にとってなぜ非同盟が緊急なのか」  
南アの元外交官が、世界人口の80%をしめ、豊かな資源と技術力をもった「南の世界」の可能性を強調し、非同盟運動の活性化を訴えています。
- 7 , ダビド・チョケウアンカ「人間中心主義から地球中心主義へ」  
ボリビア多民族国副大統領が、交渉中の「ポスト2020年の生物多様性の世界的枠組」み交渉にあたって出した各国政府と人民への公開書簡です。